

第1回 日本気候療法士 資格講習会

「日本で初めての本格的な講習会：世界遺産・熊野で学ぶ」

熊野は、いにしえより多くの人々が蘇りや修験のために訪れた場所で、2004年7月に世界遺産に登録されました。木々に覆われた熊野古道を歩き良質の温泉でゆっくりする熊野スタイルは人気のツアーとなっています。この熊野で、地域資源を活用した健康づくりの実践や健康保養地づくりに役立つ資格講習会を開催します。

- 日程：H22.10/7(木)～8(金)
- 受講料：¥20,000 (テキスト代含む) 宿泊等は別途自己負担
- 定員：40名
- 認定試験料：¥5,000
- 講師：阿岸祐幸 (北海道大学名誉教授)
- 会場：「山水館 みどりや」TEL0735-42-1011
和歌山県田辺市本宮 川湯温泉
- 申込：ホームページ <http://hrmed.jp>

講習会翌日10/9(土)はポストセミナー(気候療法士と巡る熊野)を開催予定です。(希望者のみの自由参加)

気候療法 (Klimatherapie)

日常生活と異なった気候環境に転地して、治療や保養などを行う自然療法で、ドイツ・ヨーロッパでは、100年以上前から気候療法を病気の治療やリハビリテーション、健康づくり等に取り入れています。

健康保養地

病気の治療や療養、健康づくり、保養などを行う場所のこと。ドイツの健康保養地では、温泉(地下物質)や海、気候などの自然条件が病気の治療・予防に適することが科学的・経験的に実証されています。日本国内でも、科学的に実証された健康保養地づくりが必要です。

気候療法士の役割

気候療法士は、自然資源等を活用した健康づくりの指導や健康教育を行います。ドイツでは、健康保養地において、気候療法士が健康づくり指導や教育を行っています。日本においては、今後の健康保養地づくりや自然資源を活用した健康づくり等での活躍が期待されます。

健康保養地の分類

- (1) 気候療養保養地
森林、山岳などの気候や地形要素が治療素材
- (2) タラソセラピー療法保養地
海岸で海洋性気候要素を用いるタラソセラピー
- (3) クナイプ療法保養地
19世紀半ばにクナイプ神父が創設した伝統的水治療法
- (4) 温泉療法(鉱泉・泥療法)保養地
温泉療法や泥療法を主として実施

カリキュラム：講義・実技・試験

気候療法士リーダーは、自然療法である気候療法の知識、実技を習得し、自らが実践できるとともに、気候療法士アドバイザーの補助を行い、指導助手を務めることができる資格です。

募集要項

- ・受講資格：気候療法士リーダー
 - ・受講資格：成人
- #### カリキュラムの特徴

日常的に活用できる気候療法の知識と実践方法を学びます。自然環境を活用した健康保養地の考え方を学びます。

<1日目>・講義 <2日目>・講義・実技
試験(実技・筆記) 発表は後日

熊野は気候療法先進地

熊野は、健康ウォーキングや温泉浴、地元料理が楽しめる健康保養地です。熊野では、健康効果検証や健康プログラム、人材育成、温泉旅館との連携など、国内においていち早く健康保養地づくりに取り組んでいる地域です。



申込締切：平成22年9月17日(金) 17:00

主催：一般社団法人 健康保養地医学研究機構 <http://hrmed.jp>

協力：和歌山県、田辺市、NPO熊野で健康ラボ、財団法人 和歌山健康センター

お問合せ：一般社団法人 健康保養地医学研究機構 事務局 担当：大津

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-8-10三ツ美ビル8F

TEL: 03-5623-5874 FAX: 03-5623-5871 email: info@hrmed.jp